



インターネットベースの災害情報に関する 国際シンポジウム (ISIDI)

2001年8月27日

主催：アジア防災センター（神戸）

共催：科学技術振興事業団

●背景

数多くの震央、火山、大規模な国際河川、そして台風の経路を抱えるアジア地域においては非常に自然災害が起こりやすい。アジア地域における災害発生は、常に世界の災害発生全体の40～50%を占めており、アジア地域が全世界の土地面積の約20%を占めることを考えると著しく高い比率であると考えられる。また、アジア地域においては災害による死者数が他地域に比べ非常に多い。災害の種類を見ると、アジアとアフリカの両地域において旱魃が被害の一番の原因となっている。それに加え、洪水、地震、台風などがアジア地域の災害死者数を増やしているのである。とりわけ洪水による死者数はアジア全体の死者数の45%を占め、この地域の災害を特徴付けている。この地域にはヤンゼ川、ガンジス川、ブラマプトラ川など多くの大規模な河川が集中しており、そのほとんどが莫大な流量を伴って流れている。

近年の発達した画像処理技術によって衛星画像による災害情報の供給が可能になった。その情報は優れた信頼性を持っており、私達はいつでもどこでもリモートセンシングによって様々な災害情報を得、被害の軽減に役立てて環境を改善することができる。しかしながら現段階では、被害軽減のための災害危機管理に即時対応できるシステムについてまだ十分な議論がなされていない。その理由として、衛星情報の提供側が技術革新のほうに多くの労力を費やしていること、加えて災害危機管理の従事者がこの分野に活発に関わっていないことが挙げられる。また、衛星画像による災害情報を入手しても、地勢や自然条件、人口・建物・インフラ等の社会状況など複数のレイヤーを持たないため、汎用性のある地理データとして活用できていないことも大きな理由の一つである。さらに、コンピューター・マッピングや地理情報システムの導入に高いコストと高度な技術が必要とされることも災害情報の利便性向上を阻む原因となっている。

●目的

災害被害の軽減に役立つ技術を利用しやすくするために関係機関の間で情報を共有すること。具体的には災害危機管理のためのインターネットベース・マッピングやGISを普及させることが本シンポジウムの目的である。

●シンポジウム内容

会議は午前のセッション（インターネット・マッピングについて）と、午後のセッション（災害情報および将来の国際協力について）の2部構成となる。講演者はマッピングや災害情報の分野に携わっている国際的に経験を積んだ専門家を想定しており、専門家間の議論もシンポジウムの要の一つとなるであろう。シンポジウムにおける使用言語は英語、開催地は神戸とする。本シンポジウムはアジア防災センター（ADRC）の主催、科学技術振興事業団（JST）の共催で運営される。興味のある方は先着100名までどなたでも参加自由。申し込みは氏名・所属・電話番号を明記の上、8月11日までに下記までEメールまたはFAXで。本シンポジウムに関する申し込み・問い合わせ先：sec@adrc.asia / 078(230)0347(FAX)

●プログラム（予定）

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 9:00~9:05 | 開式の辞 …ADRC所長 小川雄二郎 |
| 9:05~9:15 | 共催者からのご挨拶 …JST戦略的創造事業本部研究推進部課長 小原英雄 |
| 9:15~9:30 | 防災管理のためのインターネットGIS …ADRC パンパン・ルディアント |

- 9:30~9:50 「地球地図 ～地球規模の地理情報の整備」…GSI 宇根寛
- 9:50~10:00 コーヒーブレイク
- 10:00~10:20 アジア太平洋保健情報 …WHO 高島義裕
- 10:20~10:35 HAZPAC: 環太平洋における自然災害ハザードGIS
…USGS ブライン・ベニス
- 10:35~10:45 震災管理時の判断補助ツール…ロシア科学アカデミー ニナ・フ
ロロヴァ
- 10:45~12:00 インターネットベースGISについてのディスカッション
- 12:00~13:10 昼食休憩
- 13:10~13:30 Relief Webについて …OCHA アルタ・ハガーティ
- 13:30~13:50 “Social Mapping for Disaster Mitigation and the Internet:
Tracing the Use of Internet-based Maps for Social Learning”
…ITB テディ・アルゴ
- 13:50~14:10 リモートセンシングによるクリアリングハウス …佐賀大学 新
井康平
- 14:10~14:30 衛星による災害データ…東北文化学園大学 竹田厚
- 14:30~14:50 コーヒーブレイク
- 14:50~15:10 災害に関するNASDA共同プロジェクト…NASDA
- 15:10~15:30 緊急災害援助隊と災害情報 …JICA緊急援助隊災害援助課 森川
課長
- 15:30~16:30 災害情報および共同プロジェクトに関するディスカッション
- 16:30 閉会

【関係各機関の略称など】

- JST = Japan Science and Technology Corporation = 科学技術振興事業
団
- GSI = Geographical Survey Institute, Ministry of Construction = 国土交
通省国土地理院
- ITB = Bandung Institute of Technology = バンドン工科大学（インドネ
シア）
- WHO = World Health Organization = 世界保健機構
- USGS = U.S. Geological Survey = 国立地質調査所（米国）
- OCHA = (United Nations) Office for the Coordination of Humanitarian
Affairs = 国際連合人道問題調整事務所
- NASDA = National Space Development Agency of Japan (NASDA)
= 宇宙開発事業団
- JICA = Japan International Cooperation Agency = 国際協力事業団

●連絡先

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1IHDビル3F アジア防災センター
TEL: 078(230) 0346 FAX: 078(230) 0347
E-mail: sec@adrc.asia URL: <https://www.adrc.asia>